

車イスでも利用できる大船駅東・西口エスカレーターは、午前6時から午後10時までしか動いていませんでした。それを、午前5時から24時までになりました。

また、モノレール駅側にあるエレベーターは、1階降り口から車道までの側が狭く、段差も大きかったために車イス、ベビーカーなどで利用すると、転落する危険がありました。そこで、防止のための「転倒止め」を設けました。

大船駅西口に、通り抜けできるエスカレーターと多目的トイレができました。

以前の「一般質問」で、「産科が少ない」と質問した時、市長答弁では、「他の市への転送も考えている」旨の答弁でした。

しかし、鎌倉市と医師会が協同で、全国で初めての産科をつくりました。

千一（せんはじめ）は

* 役に立って、役に立って、役に立ちたい

何でも聞かせてください。
したいこと、不便なこと、街々の様子などを。
私は、即、言葉でもって受け答えできませんが、「聞く耳」を持っています
市民の皆さまの、ご期待に添いたいのです。
どんなにささやかなことでも「住みよい鎌倉」を目指して、力を尽くしたいのです。

* 会報「足渡し」に思いを込めて

会報を、「手渡し」ではなく「足渡し」をしています。ご理解をお願いいたします。
すすんで受けとってくださる方、眉をひそめられる方、そうですよね、「足」ですものね。
でも、私の足は、地面を踏みしめて歩くことができません。足の汚れはありません。そして、手の代わりにができます。「手渡し」と思ってくださいね。

* お寄せ下さい、歩きにくい道路情報

どんな径（こみち）も、みんなが歩く大事な道です。時間を見つけては、こまめに活動いたします。
でも、大雨が降ったら行動できません。傘がさせないからです。



市議会では、毎回、「一般質問」の席に立ち、鎌倉の福祉 行政に対して鋭いメスを入れる !!

私も応援します !!

- ◇ 中田 光彦
社会福祉士、介護福祉士、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 宇野 峰雪
弁護士、元横浜弁護士会副会長、神大OB、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 中村 平八
経済学博士、元神奈川大学経済学部長、千一の大学時代の恩師、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 海老名健太郎
松下政経塾第22期生、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 小木 和孝
医学博士、財団法人労働科学研究所・元ILO労働条件環境局長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 小木 節子
鎌倉バリアフリー研究会 会員、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人
- ◇ 山口 道孝
東ティモール医療友の会・副運営委員長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」会員